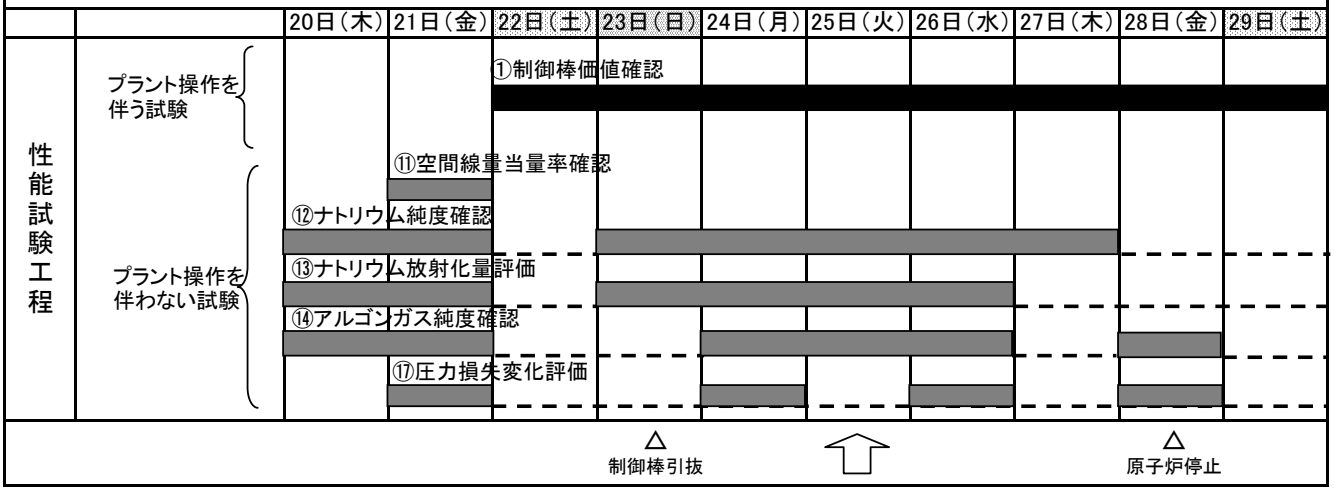
平成22年5月25日
独立行政法人日本原子力研究開発機構
敦賀本部

高速増殖原型炉もんじゅ　性能試験（炉心確認試験） 実　施　状　況		13：00現在
概　要 制御棒価値確認等を安全に実施している。		
プラント状態	異常なし。 1次主冷却系流量　約49％（主モータ運転）　　1次主冷却系温度　約200℃ 2次主冷却系流量　約7％（ポニーモータ運転）　2次主冷却系温度　約200℃	備　考
性能試験実施状況	【昨日（5/24）の実績】 9：05　圧力損失変化評価開始 9：53　圧力損失変化評価終了 10：05　アルゴンガス純度確認開始 14：15　アルゴンガス純度確認終了 3：15　CCR1、FCR1全挿入（未臨界） 5：33　臨界 【本日の実施状況】 制御棒価値確認を継続実施中。 ナトリウム純度確認、ナトリウム放射化量評価を継続実施中。 10：33　アルゴンガス純度確認開始（17時頃終了予定） 【明日（5/26）の予定】 制御棒価値確認を継続実施する。 ナトリウム純度確認、ナトリウム放射化量評価を継続実施する。 アルゴンガス純度確認を実施する。 圧力損失変化評価を実施する。	備　考
その他	保修票対応： ・高圧第2給水加熱器水位調節弁のシートリングの補修について　（別添資料）	備　考

炉心確認試験工程



別添資料

平成 22 年 5 月 25 日

このお知らせは、国への報告対象トラブルではありませんが、炉心確認試験中に発生したものであり、参考までにお知らせするものです。

高速増殖原型炉もんじゅ
高圧第２給水加熱器水位調節弁のシートリングの補修について

１．発 生 日 ： 平成２２年　５月２５日（火）（保修票発行）

２．発生場所 ： 高速増殖原型炉もんじゅ　タービン建物（非管理区域）

３．状　　況 ：

高速増殖原型炉もんじゅは、４月からタービン及び水・蒸気系設備の点検を実施していますが、５月２４日１４時２０分頃、高圧第２給水加熱器水位調節弁*1の分解点検において、当該弁の部品の点検・手入れ後、弁箱にシートリング*2を取り付けるためにインパクトレンチ*3でシートリングを締め込んだ際、シートリングの凸状の２個の爪（長さ約１９ｍｍ×幅約６ｍｍ×高さ約６ｍｍ）が折損しました。２個の折損した爪（金属片）は、配管内部から回収しました。

折損した原因については調査中です。シートリングは新しいものに取り替えることとしました。

現在点検中であり、停止している設備であることから、環境及び炉心確認試験への影響はありません。

＊１：高圧第２給水加熱器水位調節弁は、高圧タービンからの蒸気によって、蒸気発生器の給水を加熱する加熱器の水位を一定に調節するための弁です。

＊２：シートリングは、弁の本体に設置されているもので、可動する弁体と密着して水の流れを止めるためのものです。

＊３：インパクトレンチは、ボルトやナットを回すときに、使用するもので、電気や圧縮空気を動力源にして、内蔵しているモーターなどを回転させて、ボルトなどを締める工具です。

以　上